

平成 25 年度「早期からの教育相談・支援体制構築事業」  
成果報告書

団体名	北九州市教育委員会
-----	-----------

概要

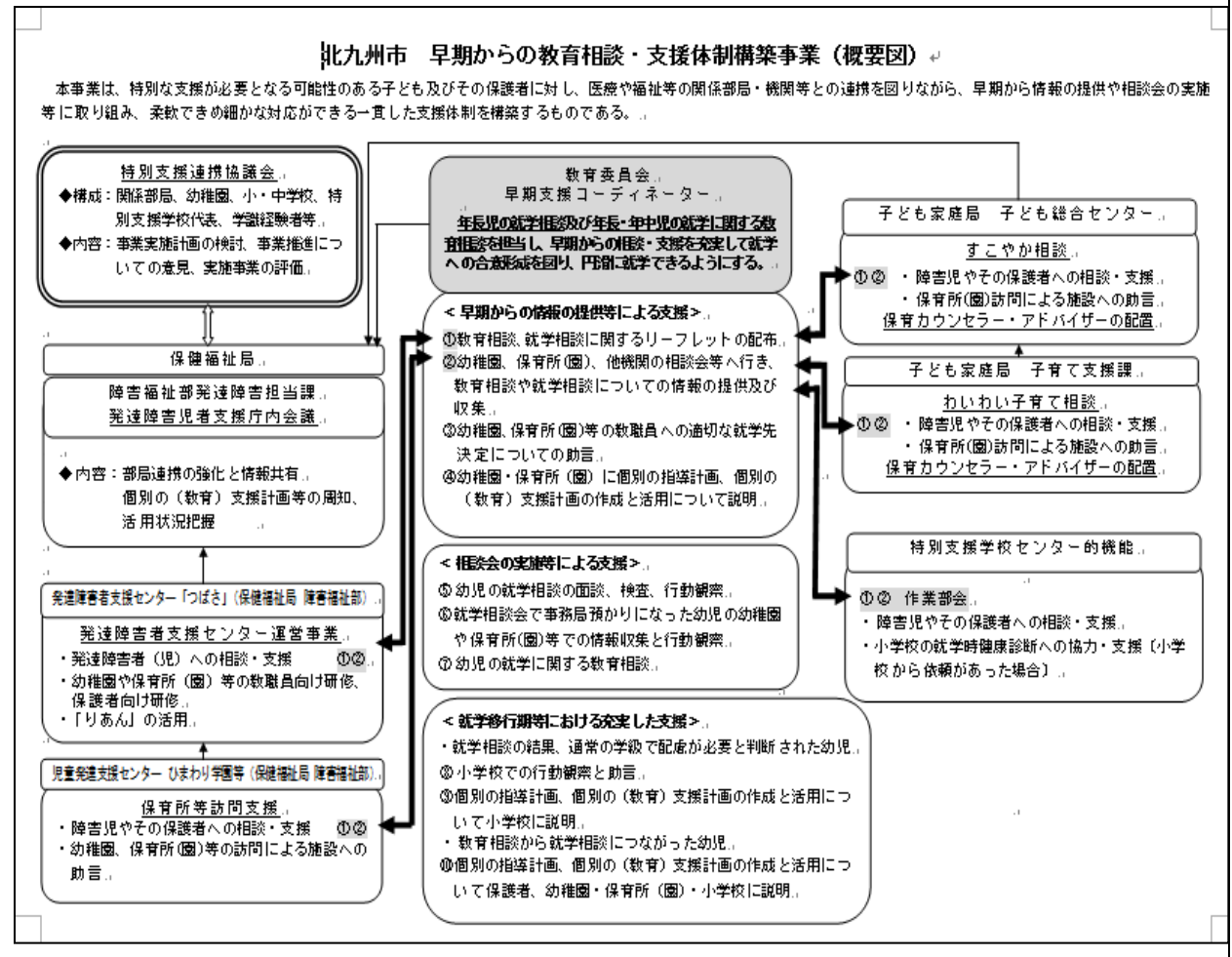
1 事業の概要

特別な支援が必要となる可能性のある幼児等及びその保護者に対し、医療や福祉等の関係部局・機関等との連携を図りながら、早期からの情報提供や相談会の実施等に取り組み、柔軟できめ細やかな対応を可能にする、一貫した支援体制を構築するものである。

特に、早期支援コーディネーターを中心にして、年長児の就学相談及び年長・年中児の就学に関する教育相談を行い、早期からの相談・支援を充実して就学への合意形成を図り、円滑に就学できるようにした。

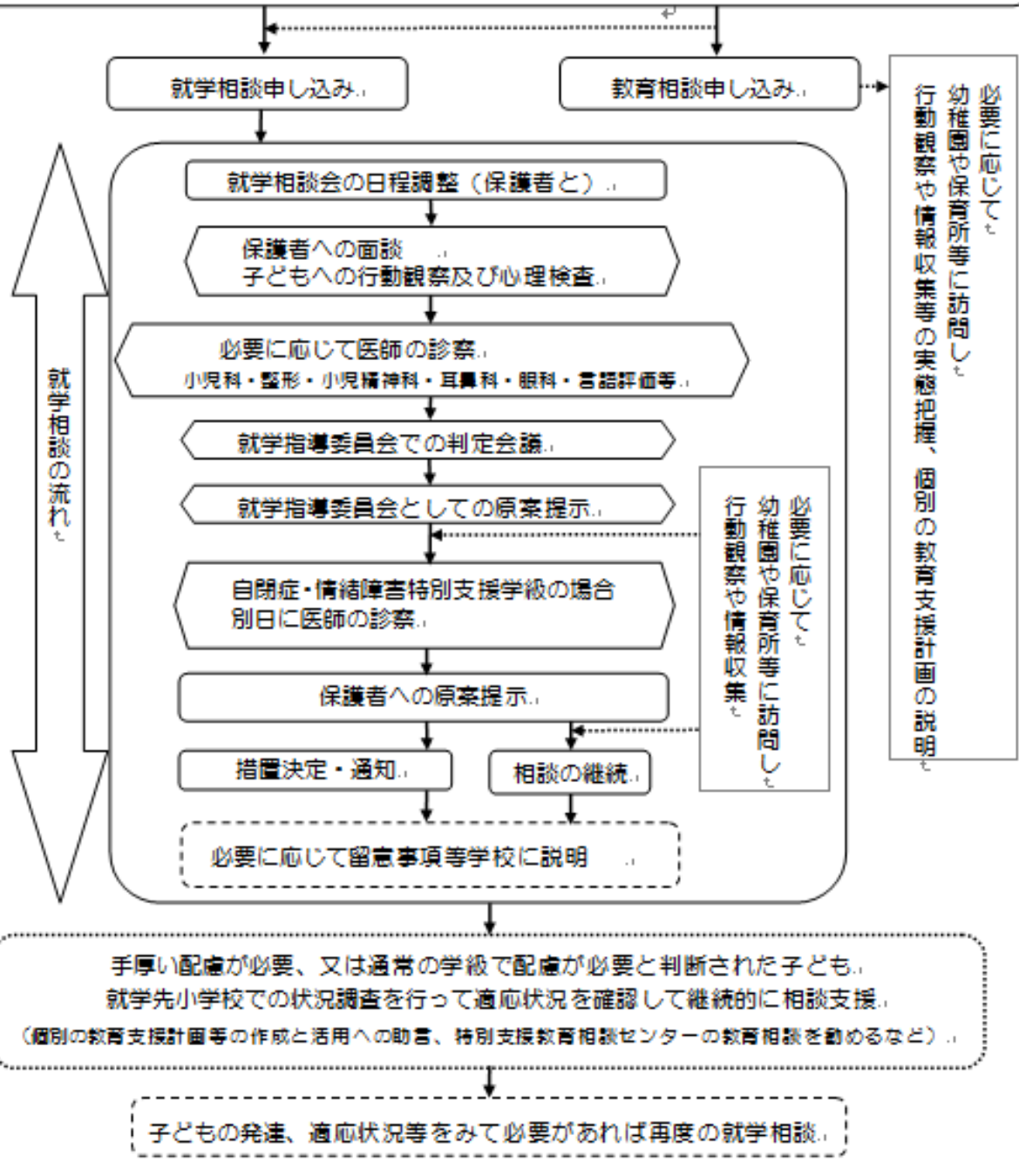
【事業実施体制】

特別な支援が必要となる可能性のある幼児等及びその保護者への、早期からの教育相談支援に関わる教育、保育、医療、福祉、保健等の関係部局・機関等との連携協力を推進するため、特別支援連携協議会や平成 24 年度に保健福祉局障害福祉部に設置された発達障害児者支援庁内会議を活用し、ネットワークの構築を図っている。



【幼稚園・保育所等未就学段階から就学決定までの支援の流れ】

幼稚園や保育所（園）・障害児通所施設等における、就学相談会や年中・年長児の教育相談の説明（就学相談申込書、リーフレット「小学校に向けて お子様の就学について相談してみませんか」、「北九州市の特別支援教育」等配布）。



## 2 事業の成果

### ①関係部局・機関等と連携協力のためのネットワークの整備について

特別支援教育相談センターでの教育相談や就学相談のみならず、子ども家庭局や保健福祉局などによる乳幼児の相談会等も多数開催されている。特別支援連携協議会や発達障害児者支援庁内会議の場において、特別支援教育相談センターや関係部局等で行われている相談業務の目的・内容・方法との違いを明確にすることにより、相互の協力体制の在り方を検討することができた。連携体制を強化することによって、部局間で連携した相談支援システムが構築され、一層効率的かつ効果的なネットワークを築くことで、本人や保護者への支援の充実につながることが期待される。

### ②早期からの情報の提供等による支援について

- ・ 年長児の就学相談及び年長・年中児の就学に関する教育相談を周知することを目的として、保護者が手に取りやすく、読みやすいリーフレットを作成した。優しい色合いで、文字も大きくし、平易な文章でまとめることを心掛けた。
- ・ 早期支援コーディネーターが、幼稚園や保育所等において、幼児等の特性に応じた適切な関わり方や指導方法を教職員に対して助言してきたことで、教職員が幼児等を観察するポイントを理解したり、実践的な指導力を向上させたりすることに結びつけることができた。これらの取組により、保護者の育児上の相談や幼児等の発達上の心配事に対応するためのノウハウを培うことができた。

### ③相談会の実施などによる支援について

就学相談における判断が難しい事例については、以前から学校や園での行動観察、情報収集、関係機関との連携等を図りながら、適切な就学先や入級の判断につなげることを目指して、保護者と合意形成を図ってきた。これらの取組に加えて、平成25年度から配置された早期支援コーディネーターが、幼稚園や保育所等を訪問して、行動観察や情報収集をすることで、集団生活での幼児等の状況をより細かく、具体的に把握することができるようになり、適切な就学先決定に役立てることができるようになった。

## 3 事業の課題とその解決のために必要な取組

### ①関係部局・機関等と連携協力のためのネットワークの整備について

関係機関との横の連携を一層強化するために、平成25年度の取組から見えてきた課題等を洗い出し、地域における早期支援体制の一層の充実につなげていきたい。

### ②早期からの情報の提供等による支援について

平成25年度における幼児児童生徒に係る就学相談のうち、約40%が幼児に関するものであった。大半のケースは年度の早い時期に相談申込みをしているものの、年度末の申込みもある。保護者が気軽に相談することができ、一人で悩みを抱えることがないように、また適切な支援を早い時期から実施できるように、啓発資料となるリーフレットを作成したり、各区役所の子ども家庭相談コーナーなどにも置かせてもらったりして、早期からの相談・支援の大切さを広く市民に周知していく。

### ③就学移行期における充実した支援について

就学相談の結果、特別な支援が必要と判断された幼児児童等については、個別の教育支援計画の作成・活用に努めるよう、各学校や関係機関にも指導・助言を徹底し、途切れない一貫した支援につなげる必要がある。